

2022年12月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総売上高）で開示しております。

〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
(株)高島屋 計 ※1	+5.0	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+4.6

〔店舗・事業部別 概況〕

		(前年比 単位:%)			
		売上高	入店客数	売上高	入店客数
大阪店	+9.2	+12.0	大宮店	△6.0	△7.8
堺店	△1.9	+2.3	柏店 ※2	△4.3	△2.1
京都店 ※2	+5.6	+0.5	(株)高島屋 各店計	+5.1	+2.0
泉北店	△0.3	△4.0	岡山高島屋	△4.9	△2.6
日本橋店	+5.5	+4.2	岐阜高島屋	+3.3	△9.6
横浜店 ※2	+1.2	△0.8	高崎高島屋	△1.3	△3.0
新宿店	+16.9	+9.4	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+4.6	+1.7
玉川店	△2.2	△3.4	法人事業	+16.8	
立川店	+0.8	△2.6	クロスメディア事業	△1.9	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

		(前年比 単位:%)				
		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	
衣料品	+7.0	+6.2	食料品	+2.5	+2.2	
紳士服・洋品	+3.3	+2.4	生鮮食品	+1.3	+1.0	
婦人服・洋品	+10.5	+9.8	菓子	+8.3	+7.8	
子供服・洋品	△3.5	△4.3	惣菜	+2.2	+1.8	
その他衣料品	△7.2	△8.8	その他	△4.0	△3.9	
身のまわり品	+14.4	+14.5	食堂・喫茶	+3.1	+2.8	
家庭用品	△1.8	△3.3	雑貨	+2.2	+1.9	
家具	△8.4	△14.3	化粧品	+7.7	+6.6	
家電	+35.6	+37.1	美術・宝飾品・貴金属	△5.8	△5.6	
その他家庭用品	△4.7	△4.8	その他	+13.1	+12.2	
				サービス	△0.7	△0.6
				その他	△11.0	△10.9
				合計	+5.0	+4.6

○百貨店は、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品の好調に加え、インバウンド売上の押し上げ効果があり、前年実績を上回りました。

	前年比	2019年比	2018年比
店頭売上	+4.6%	+0.1%	△4.9%
免税売上	+366.9%	△9.8%	△22.3%
免税を除いた店頭売上	+0.7%	+0.6%	△3.8%

※2019年10月の消費増税の影響が生じるため、2018年比を記載しております。

○法人事業は大口受注により、前年実績を上回りました。

○1月の店頭売上は、15日までの累計で前年比+11.9%（2020年比△4.6%）、免税売上は前年比+224.5%（同△25.3%）、免税を除いた店頭売上は前年比+8.0%（同△3.1%）で推移しています。